

令和4年2月3日 児童集会 校長講話（概要）

小林 一夫

今年も早くも一か月が過ぎました。月日が経つのが早いですね。

現在、コロナウイルスの変異株（オミクロン株）というのが、爆発的に感染拡大しています。皆さんのお家の人たちの会社や職場でもコロナの感染が広がり、皆さんの中にも学校に来れずにお家で過ごすように言われている人が増えてきました。本日、お家からタブレットでこの集会に参加している人たちも負けないで頑張してほしいと思います。今後、益々感染拡大が続くと思われるので、引き続きマスクの着用、教室・部屋の換気、手洗い、密にならない等の基本的な感染対策をしっかりと行っていきましょう。

さて、3学期が始まって、とても残念なことがこの藤阪小学校のいくつかのクラスで起こっています。それは、クラスのお友だちが嫌がる言葉や心に傷つくような言葉をお友だちに言って、大変悲しく思っている人が出てきたということです。

自分が言われて嫌なことは、人にも言ってはいけませんね。

また、自分がされて嫌なことは、人にもしてはいけませんね。

これは、学校のルールというより、人間として絶対にしてはいけないことですね。

人が話す言葉というのは「人の思い（気持ち・考えていること）を声にあらわしたもの」と言われます。

言葉ひとつで、落ち込んでいる人を励まし、元気にすることができるのが言葉の持つ力です。反対に、言葉ひとつで相手を悲しみのどん底に突き落とすことができるのも言葉の持つ力の一つです。

それではここで、皆さんに質問します。皆さんが一番好きな元気が出る歌は何ですか。

その歌を歌ったら元気が出ますよね。なぜでしょうか。その歌を歌った時に一番最初に聞く人は誰ですか。歌った本人ですね。そして、その歌を周りで聞いていた人も元気になると思います。

また、このような経験はありませんか。スポーツの試合などで、特にピンチの時、「声を出せ！」「声を出していこう！」「さあ、がんばっていこう！ファイト！」等のかけ声をかけたりすることがありますね。

この掛け声にしても、一番最初に聞くのは、チームの仲間ではなく、実はその掛け声をかけた本人なのです。人を励ましたり、元気になるように声をかけたら、それを言った本人が最初に元気になり、元々持っている力（実力）が発揮されることになるのです。

チームの仲間と言っているようで、実は一番最初に聞く自分自身を元気づけていることになるんです。これをチーム全員でやることでチーム全体が元気になり、本来持っているチーム力が発揮され、逆転、大勝利へとつながっていくのです。

反対に、人を傷つける言葉を言うというのは、相手が嫌な思いをしたり、心に傷つく前に、まずその言葉を言った本人の心が傷つくことにつながるのです。

言った人も傷つき、言われた人も傷つくような、もう、こんなことはやめましょう！

こんなことは、藤阪小学校からなくしましょう！

今日からは、みんなを元気づけたり、うれしく思えたり、それを聞いた周りの人たちも、楽しくなり、幸せな気持ちになるような言葉が飛び交う藤阪小学校にしていきましょう。

以上、ありがとうございました。（※集会後、学年に応じ担任よりフォロー）